5.11 廃棄物等

「工事の実施」に係る廃棄物等が環境へ与える負荷の量について、予測及び評価を行いました。

5.11.1 予測手法

予測対象とする影響要因及び環境影響の内容を表 5.11-1 に示します。

予測は、工事の計画から「建設工事に伴う副産物　(建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、脱水ケーキ※1及び伐採木)」の発生状況を把握しました。

予測地域は事業実施区域とし、予測対象時期は工事期間中としました。

表 5.11-1　予測対象とする影響要因と環境影響の内容

影響要因		環境影響の内容
工事の実施	・ダムの堤体の工事 ・原石の採取の工事 ・施工設備の設置の工事 ・建設発生土の処理の工事 ・道路の付替の工事	「建設工事に伴う副産物」の発生による環境への負荷の量の程度

5.11.2 予測結果

廃棄物等の予測結果を表 5.11-2 に示します。

建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊及び伐採木については、環境への負荷は小さいと予測されました。脱水ケーキについて、環境への負荷が生じると予測されました。

表 5.11-2　廃棄物等の予測結果の概要

廃棄物等の種類	予測結果	環境保全措置の検討※1
建設発生土	ダムの堤体等の工事による発生が予測されますが、道路の付替の工事での利用や施工設備の工事で利用するなど事業実施区域内で処理する計画です。	－
コンクリート塊	ダムの堤体等の工事による発生が予測されますが、全て事業実施区域外の再資源化施設での処理後に再生利用を行う計画です。	－
アスファルト・コンクリート塊	ダムの堤体等の工事による発生が予測されますが、全て事業実施区域外の再資源化施設での処理後に再生利用を行う計画です。	－
脱水ケーキ	ダムの堤体等の工事により発生し、環境への負荷が生じると予測されます。	○
伐採木	伐採木は、貯水予定区域における樹木の伐採及び除根による発生が予測されますが、有価物としての売却やチップ化等の処理後に再利用を行う計画です。	－

※1.　○：環境保全措置の検討を行う項目を示します。
　　　－：環境保全措置の検討を行わない項目を示します。

※1.　脱水ケーキとは、粘土や汚泥を脱水機にかけて脱水した後に残った固形の物質のことです。

5.11.3 環境保全措置

予測の結果から、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊及び伐採木については、環境への負荷は小さいと予測されました。脱水ケーキについて、環境への負荷が生じると予測されたため、環境保全措置を検討しました。

環境保全措置の内容は表 5.11-3 に示すとおりです。

表 5.11-3　廃棄物に係る環境保全措置

項　目		環境影響	環境保全措置の方針	環境保全措置	環境保全措置の効果
建設工事に伴う副産物	脱水ケーキ	環境への負荷が生じると予測されます。	脱水ケーキは、再利用の促進により廃棄物としての処分量の低減を図ります。	濁水処理設備における機械脱水等を適切に行い、汚泥を脱水ケーキ化し廃棄物としての処分量を減少させます。 さらに、脱水ケーキについては、強度を向上させた上で、盛土材・埋戻し材として事業実施区域内での再利用を図ります。	脱水ケーキ化を行うことによる廃棄物処分量の減少と再利用の促進により、「建設工事に伴う副産物」の処分量が低減することから、環境への影響はできる限り回避・低減されると考えられます。

5.11.4 評価結果

廃棄物等については、「建設工事に伴う副産物」について予測を実施しました。

影響予測の結果、脱水ケーキについて環境への負荷が生じると考えられたことから、環境保全措置として再利用の促進を実施することとしました。環境保全措置の実施により、環境への影響はできる限り回避・低減されるものと考えられます。

建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊及び伐採木については、影響は小さいと考えられます。

これにより、廃棄物等に係る環境影響は実行可能な範囲内でできる限り回避もしくは低減されると判断しています。